

実践VBAプログラミング講座(表計算)

実施日 2026年2月18日(水),19日(木),25日(水),26日(木)
(応募締切日 2026年1月21日 必着)

Excel®を使う皆様に
おすすめ!!
Excelスキルアップ
シリーズ

■こんな人に向いています！

- ・Excelを使用する仕事の効率をアップしたいと感じている方
- ・業務改善に取り組んでいる方
- ・Excelにおいて簡易なプログラミングに挑戦したい方

生産管理、在庫管理、部品管理などに必要なデータ入力作業が楽になり、製造部門での効率が飛躍的に上がりましたね!!

業務改善を行って、ワークライフバランスを見直そう!!

入力作業が、楽になりました!!

■セミナーの概要

セミナーNo	0621	実施場所	産業技術短期大学校(最寄駅:相模鉄道「二俣川駅」)
内 容	Excel VBAを使ったプログラムの作成を通して、Excel特有のオブジェクト、プロパティ、メソッド、制御構文などについて実践的に学びます。	実施時間	8:50~16:10
		定 員	10名(応募者多数の場合は抽選)
		受講料	12,400円
		使用教材 使用機器 など	■使用テキスト FOM出版「よくわかる Microsoft Excel VBAプログラミング実践 Office 2021/2019/2016/Microsoft 365対応」 ISBN 978-4-86775-079-7 税込価格 2,750円 ■使用ソフト Microsoft Excel 2016以上 ■持ち物 テキスト(事前に購入して下さい) ウイルスチェック済のUSBメモリ
カリキュラム 概要	1.VBAの基礎 2.オブジェクトの利用 3.関数の利用 4.イベントの利用 5.ユーザーフォームの利用 6.ファイルシステムオブジェクトの利用 7.エラー処理とデバッグ 8.商品売上システムの作成		

■申込み方法

電子申請(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/xa4/seminar/index.html>)

または、往復はがきによりお申込みください(はがき1枚につき1名)

■その他

※応募状況・荒天等により中止となる場合があります。また、定員、実施日、開催時間の変更あるいは実施時間を延長、短縮する場合があります。

※テキストが必要なセミナーの場合は、各自であらかじめ購入していただきます。なお、テキスト代は受講料とは別にご負担いただきます。

※申込者の個人情報について、スキルアップセミナーに関する業務以外に使用することは、一切ありません。



往復はがきの記入方法

切手 (返信面) あなたの ①郵便番号 ②住所 ③氏名 (裏面は白紙のまま)	(往信面) ①ご希望のセミナーNo. ②セミナー名 ③あなたの住所 ④あなたの氏名とよみがな (1枚につき1名) ⑤日中の連絡先と電話番号 (勤務先、携帯電話等) ⑥現在の仕事の職種 (例:製造業) (裏面は短大校の住所・校名を記載)
--	---

問合せ・往復はがきでのお申し込み先

神奈川県立産業技術短期大学校 スキルアップセミナー担当
〒241-0815 横浜市旭区中尾2-4-1 045(363)1233

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.kanagawa-cit.ac.jp/seminar/>



プログラミング関連のセミナー

step up!!!						
機械学習や画像認識、人工知能などで、注目されているPython言語について基本的なプログラミング技法をマスターします。 Python言語を用いて、実践的に機械学習のアルゴリズムを実装し、基本的な開発技法をマスターします。 Python言語を用いて、実践的に深層学習アルゴリズムを実装し、その開発技法をマスターします。 プログラム生成における正しい指定や既存プログラムへの追加指示などの入力知識を習得します。 人工知能で注目されているディープラーニングについて、画像認識技術を題材に基礎技術を学びます。Pythonプログラミング講座を受講しなくても大丈夫です。 ネットワークサーバシステムを構築できるようになります。Unixコマンドの操作が必要です。						
No.	0611	0615	0613	0614	0616	0612
セミナー名	Python プログラミング講座	Python言語による 機械学習基礎講座	Python言語による ディープラーニング 実践講座	ChatGPTによる プログラム生成の 可能性講座	ディープラーニングの 基礎技術講座	ネットワークサーバ 構築講座
内容	Python言語は現在、科学分野からAIなどの分野で幅広く使用されているプログラミング言語です。本講習ではPython言語の基本的な文法を学習し、基本的なプログラミング技術を得得することを目指します。 使用ソフト： Python3.10 以上	Python言語は汎用的な機械学習用ライブラリを持つため、機械学習の分野で広く用いられています。本講習ではPython言語を使った機械学習のためのデータの取り扱いからアルゴリズムの選択・学習モデルの評価・調整に関する知識の習得を目指します。 使用ソフト： Python3.10 以上	Python言語は汎用的な機械学習用ライブラリを持つため、機械学習の分野で広く用いられています。ニューラルネットワークモデルとディープラーニングモデルの基本、およびその発展的な利用法についての知識の習得を目指します。 使用ソフト： Python3.10 以上	定型的なプログラム作成における、ChatGPTの支援機能の限界を探ります。どこまで指定すれば正しいプログラムを生成するか、既存のプログラムへの追加を指示できるものかなど、実際に生成しながら確認し、プログラム生成におけるプロンプトの入力知識を習得します。	人工知能の中で特に注目を集めているディープラーニングについて、最も成功している画像認識技術を題材に、例えば、多数の動物写真を学習させ、判別の精度を高める過程を概観します。	仮想環境を用いて、DNSサーバ(BIND)、HTTPサーバ(Apache)、メールサーバ(Postfix)の構築及び設定を行い、Unix系OS(Rocky Linux)によるネットワークサーバ構築について学びます。 使用ソフト： Rocky Linux 9
対象者	C言語などのプログラミング実務経験を有する方	C言語などのプログラミング実務経験があり、Python言語の基礎知識を有する方	C言語などのプログラム実務経験があり、AI(特に深層学習)を用いたアプリケーション開発に興味がある方(Python言語ならびに機械学習に関する基本的な知識があることが望ましい)		Windowsの操作ができ、人工知能(AI)やディープラーニングの技術に興味がある方	Unixコマンドの操作、Rocky Linuxやアプリケーションのインストールを行うことができる方
持ち物	ウイルスチェック済のUSBメモリ	ウイルスチェック済のUSBメモリ	ウイルスチェック済のUSBメモリ	ウイルスチェック済のUSBメモリ	ウイルスチェック済のUSBメモリ	ウイルスチェック済のUSBメモリ
開催日	8/4,5	8/28,29	9/25,26	6/11,12	12/10,12	11/17,18,19,20
締切日	6/30	7/24	8/21	5/7	11/5	10/14
受講料	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	12,400
定員	10	10	10	10	10	10

■講座概要

Excel®、Access®などのMicrosoft®社ビジネス統合ソフトウェアである Office製品を使われている方は多いと思われます。特に、Excel、Access には”マクロ”とよばれる「人間が手作業で行う操作を自動化する」機能が組み込まれていますが、実はその裏側ではVBA というプログラムが働いています。

言い換えれば、このVBA というプログラム言語を習得できれば、日常の業務を大幅に効率化できるとともにExcel やAccessを利用して業務システムを作ること可能になります。

本講座では、Excel を使用して、VBA の基礎を学んだ後、具体的に関数、イベント、ユーザーフォームの利用法、更にはファイルシステムとの連携やエラー処理およびデバッグ機能まで、演習を通して学んで頂きます。

また、これらの知識を活用して、商品売り上げ管理を目的とするシステムの作成にも挑戦して頂きます。

■受講条件

Excel の基本操作ができ、関数に関する知識を有する方を対象としております。

Excel を使った単純な入出力しか経験したことがない方や、関数を使用したことがない方の受講は、他の受講者の習得レベルに影響を及ぼすことが考えられますので、お控え頂くようお願いします。

※ テキストは、事前に購入して、持参してください。

■カリキュラム

日程		内 容
第1日	AM	VBAの基礎 基本用語 変数と定数 制御構造 配列 サブルーチン オブジェクトの利用 セルの操作 ワークシートの操作 ブックの操作
	PM	関数の利用 関数の基本 文字列操作関数 日付関数 その他の操作関数
第2日	AM	イベントの利用 イベントの基本 ワークシートのイベント ブックのイベント
	PM	ユーザーフォームの利用 ユーザーフォームの基本 ユーザーフォームの追加 コントロールの追加 ユーザーフォームの外観を整える プロシージャの作成
第3日	AM	ファイルシステムオブジェクトの利用 ファイルシステムオブジェクトの基本 FSOによる操作
	PM	エラー処理とデバッグ 実行時エラーの処理 デバッグ機能の利用
第4日	AM	商品売り上げシステムの作成 仕様作成 マスター登録処理
	PM	商品売り上げシステムの作成 請求書発行処理 システムを仕上げる